

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 平成30年度

施策コード 321 施策 生活支援など暮らしの基盤づくり

管理事業 障害者支援交流センター事業 1 枚のうち 1 枚目

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
① 障害者支援交流センター施設管理事業	障がい福祉室	障害者支援交流センターの施設及び設備の維持管理	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 93,462	評価の視点 ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・医療的ケアが必要な重度障がい者が多く利用する施設であるため、施設整備の安全面及び衛生管理には特段の注意が必要である。 ・施設の老朽化が進んでいるため、今後、計画的に維持補修を進める必要がある。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
② 障害者支援交流センター一般開放事業	障がい福祉室	障害者支援交流センターの会議室等を市内の障がい者団体や近隣自治会等に開放。また、プール及び介助浴室を市内在住の身体障がい者及び知的障がい者とその介護者などに開放	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 3,021	評価の視点 ☒ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・毎年一定の利用者があり、地域にも根ざした障がい者福祉の向上に一助を担っており、費用対効果の面からも継続に値する事業である。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
③ 生活介護施設運営事業	障がい福祉室	障害者支援交流センターにおいて、常時介護が必要な者に日常生活上の支援、軽作業等の生産活動や創作的活動の機会の提供など必要なサービスを業務委託により提供	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 282,419	評価の視点 ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☒ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・市内における医療的ケアが必要な重度障がい者が通所できる生活介護事業所は、障害者支援交流センターと総合福祉会館の2か所のみである。今後、真面支援学校高等部の医療的ケアが必要な生徒の卒業後の通所が見込まれており、受け皿としての新たな方策が必要である。 ・医療的ケアが必要な重度障がい者へ十分なサービスを提供できるよう、事業の在り方、委託先の選定方法や委託料等について整理を行い、より効率的な事業運営を図っていく必要がある。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
④ 短期入所施設運営事業	障がい福祉室	障害者支援交流センターにおいて、障がい者を短期入所させ、短期入所サービスを業務委託により提供	市が独自に実施している事務
決算額(事業費) 平成 30 年度 (千円) 31,977	評価の視点 ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☒ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・短期入所サービスのニーズが高く、ほぼ満床の状態である。 ・継続して、十分な短期入所サービスの提供が行えるよう、事業の在り方、委託先の選定方法や委託料等について整理を行い、より効率的な事業運営を図っていく必要がある。	今後の方向性 継続

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
決算額(事業費) 平成 年度 (千円)	評価の視点 ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性

事業名	所管室課	事業概要(事業の具体的な内容を端的に記入)	実施区分
決算額(事業費) 平成 年度 (千円)	評価の視点 ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 ※課題があるものは■	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	今後の方向性

上記以外の予算事業 ※ 施策番号900番、昨年度で廃止した事業、指定管理者制度導入施設の管理運営事業などの評価対象外事業はこちらに記入。

事業名	所管室課	事業名	所管室課